

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	はぐくみの家 第2ココ		
○保護者評価実施期間	R6年 9月 5日		～ R6年 9月 20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	15	(回答者数) 12
○従業者評価実施期間	R6年 9月 5日		～ R6年 9月 20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	R6年 9月 27日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	支援の提供…こどもの特性などに応じ、活動プログラムを組み、支援ができています。	年齢ごとのクラスや課題に応じたグループ、必要に応じて個別での活動など、ニーズによって支援の仕方を柔軟に変えている。	指導員間の情報共有を円滑にさせるために、ケース会議を実施する周期を短くする。
2	保護者への説明等…個別支援計画を示す際に、支援内容をお伝えするとともにご家庭と事業所とで共通理解を図っている点。	面談時だけでなく、日常的なやりとりからご家庭の様子を伺い、事業所での姿をお伝えしている。 また、ブラジル国籍の方とのやりとりには、ポルトガル語話者の指導員が仲介し、言葉の面だけでなく、文化的な側面にも配慮できるようにしている。	実際の様子をイメージしやすいよう、写真や動画をういて説明する。
3	満足度…安心感を持っていただき、楽しんで利用していただいている点。	子どもの声や興味関心を反映させた遊び・活動の実施を心掛けている。	新たに利用開始される方に対して、安心できるような過程を考える。 就学に向けて期待感を持ち、前向きに捉えられるような伝え方の工夫をしていく。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者への説明等…通信、ホームページ、SNS等を用いた情報の発信が少ない点。	紙ベースのお便りを発行しているが不定期になってしまっていること。 ホームページはあるものの、更新が必要最低限の範囲に留まっていること。	お便りを定期的に発行していく。 ホームページを周知するとともに、活用の仕方を検討する。
2	保護者への説明等…ペアレントトレーニングや保護者参加可能な研修会の機会が設けられていない。	直接迎えの方、延長利用の方、送迎利用の方など利用時間が様々なことから一斉に実施することが難しいこと。	アンケートなどを通し、現在行っている保育公開以外にどのようなご要望があるのか伺います。
3	非常時等の対応…各非常時のマニュアルや、定期的な避難訓練の詳細をお伝えしきれていない。	必要最低限の説明に留まってしまい、訓練の実際の様子までお話しできていない。	保護者の方にも非常時を考えて頂けるような訓練の実施や情報の発信を検討していく。